

大津家庭裁判所委員会議事録

1 日時

平成25年6月25日(火)午後2時00分から午後4時15分まで

2 場所

大津地方裁判所裁判員候補者待機室(別館1階)

3 出席者

(委員)五十音順・敬称略

川島明美, 高橋陽一, 野中百合子, 細谷鈴路, 森宏司, 吉村哲

(事務担当者)

丸山徹, 花井義治, 稲留芳穂, 佐々木昭広, 中西保, 山田誠, 吉川和伸, 上馬場靖,
坂田幸二

4 議事

(1) 前回委員会以後の改善結果等報告

事務担当者から, 前回委員会での委員の意見を踏まえ, 家庭裁判所が行った取り組みについて説明した。

(2) 意見交換

事務担当者より, 「地域・家庭・学校から見た少年及び少年非行」について説明を行った後, 意見交換を行った。

発言要旨は, 別紙のとおり

(別紙)

(発言要旨)

(委員長, 学識経験者, 弁護士委員, 検察官委員, 裁判官委員, 事務担当者)

犯罪少年の動向について、滋賀県の犯罪少年の人口比は全国平均に比べて低く、犯罪少年は少ないといえる。全国的に平成15年ごろをピークとして減少傾向にあるが、滋賀県については、平成17年ごろから急激に減少している。何か施策があったのか。

この時期からははっきりしないが、滋賀県では全国に先駆けて地域ぐるみで子どもを見守る等の取り組みを熱心に行っている。

滋賀県は、犯罪防止、高齢者に対する就労支援、後見に対応するNPO法人といったものがしっかりしており、こういった取り組みができる地域であると感じる。

長崎、仙台、大津の各地方検察庁では障害のある容疑者や被告人の再犯防止の取り組みがはじまったばかりであるが、積極的に取り組んでいく。

この取り組みは、全国で3箇所しかない内の一つであり、受け皿がある地域で実施されていることから、滋賀県は福祉的な力がある地域であると思う。

以前に比べて集団で事件を起こす少年が減っているのではないか。

地域の問題について

地域によって犯罪発生率に差があるが、地域によって教育力に差がある等の理由があるのか。

滋賀県内の小学生のほとんどは何らかのクラブに入っていることが多いように思う。社会性が身につくのではないか。

外国人の子どもが日本の生活習慣に慣れずに犯罪と結びつくといったことはないか。

外国人の子どもが、地元の学校に行くことになり、なじむのが大変になるといったことはあると思う。

しつけのしかたについての認識や、犯罪の悪質さに対する認識が日本人の感覚と異なっていると感じたことがある。

以前勤務した県と比べると、外国人の事件は少ないという印象である。

家庭について

一人親が増えてきている。世帯数が平成7年頃からすると倍増している。世帯が小さくなってきていることが家庭に何らかの影響を及ぼしているのか。

滋賀県は、一人暮らしの大学生を除くと、全国的にみると世帯規模が大きい家庭がまだ多いのではないか。呼び出したら親がきちっと出頭してくるということに結びついていないのではないか。

滋賀県は、子育てに関する関心が高い地域ではないか。子育てに関心が高いので、家事

事件においても夫婦間で親権を巡って争いが起こり、夫婦間の紛争自体が激化するといったことが生じる。父の子に対する関心が他の地域にくらべて高いのではないかと感じる。

家の存続という跡取り意識もあるのではないか。

共働きが多いと、父と子の関わりが多いのではないか。

学校については、どうか。

昨年滋賀弁護士会の憲法週間行事で大学の先生を招いてネットいじめを取り上げた。その時の話では、従前に比べてどういったいじめがあるのかが、複雑で難しくなっており、先生の目には分からなくなっているとのことであった。

目の届くところで把握するのが難しくなっている。学校と保護者が一体となるのも難しくなっている。

高校中退は、精神疾患の始まりと関係する場合がある。軽度の場合にはうまくゆくケースもある。

小学生がクラブにたくさん入っているとのことだが、大人との関係やつながり、子ども同士とのつながりを持つこととなり、有意義なものだと思う。滋賀県では、小学生がクラブに入るようなシステムになっているのか。

「近所みんなが入っているから、入ろうか。」といった感じではないか。

スポーツ少年団の活動が盛んで、地域で入るものという意識があるのではないか。

非行少年の比率が全国より低いのは、先輩から伝統のように受け継がれる非行集団があまりないのではないかと思う。

地域によっては、親になってからもかつて学校が荒れていたことを自慢するような風潮があると聞いたことがある。

この会が最後となる委員の方に御意見を伺いたい。

家裁調査官とは、個別のケースでも、ざっくばらんな意見交換ができればありがたい。

前回の意見を検討して報告いただけるのはうれしく思うし、評価している。また家裁委員会であれば、女性の委員を増やしてほしい。

個人情報の管理については、公的機関は気をつけていただきたい。